

Elazzo

SEAT COVER



MITSUBISHI
ECLIPSE CROSS
ECLIPSE CROSS PHEV

専用シートカバー取付説明書

7524/7525

Elazzio

SEAT COVER

このたびは「Elazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

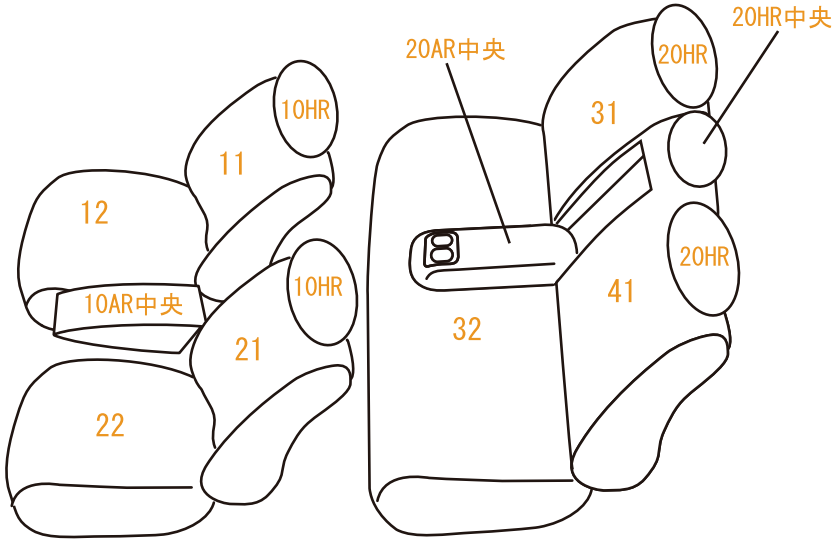
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 3P～4P
1 列目座面の装着方法	…> 5P～7P
1 列目背もたれの装着方法	…> 8P～9P
2 列目座面装着方法	…> 10P～12P
2 列目背もたれ・アームレストの装着方法	…> 13P～18P
ヘッドレストの装着方法	…> 19P～20P
コンソールの装着方法	…> 21P～23P
完成	…> 24P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 25P～26P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① プラスドライバー
- ② 両面テープ（薄いタイプ）
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ（付属）

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



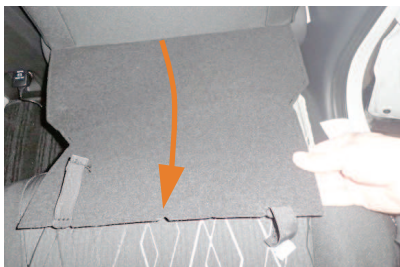
株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

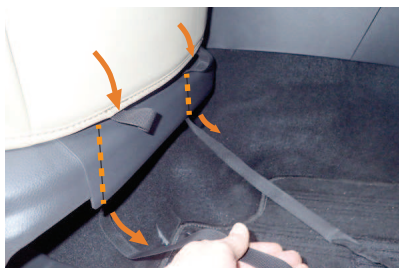
1 列目運転席座面の装着方法



- 1 始めにシートの背面からシート裏に回っている生地を外します。生地はシート裏の金属フレームにフックを引っ掛けて固定されています。



- 2 カバーをかぶせる前に、シートを一番高い位置に調整してから作業を始めて下さい。シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 3 ※パワーシート車だけの作業になります。カバーの前側に付いているベルトを、プラスチックパーツの内側を通して、シートの裏から引き出しておきます。ベルトが付いている生地の手元も、シートとプラスチックパーツの間に入れ込みます。



- 4 シートベルトバックルの軸の内側に生地を入れ込みます。生地の手元に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。マジックテープには保護テープが付いている場合があります。その場合は保護テープを外してから、マジックテープを固定して下さい。



- 5 カバー内側のマジックテープの付いた生地をシートにかぶせながら、直接シートに貼り付けて固定します。



- 6 カバー内側の生地をシートとコンソールの隙間に入れ込みます。



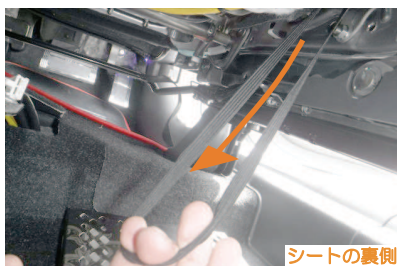
- 7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 10 シート外側の後ろ側には、カバーにゴムが付いています。ゴムをシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。ゴムの付いた生地も入れ込みます。



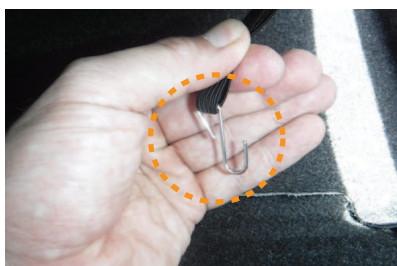
- 8 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。
シートの背面にはサイドエアバッグやシートヒーターの配線が通っています。カバーの生地が分かれている部分で配線を交わして、生地を引き出します。



- 11 シート背面の裏側から入れ込んだゴムを引き出します。



- 9 シートの外側です。
シートとプラスチック部の隙間に、端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



- 12 引き出したゴムに付属の金属フックを図のように取り付けます。金属フックはシート裏の金属フレームに引っ掛けて固定します。



- 13 カバーの前側に付いているベルトを、シート裏を通してシートの背面へ入れ込みます。マニュアルシートはスライドレバーの上側にベルトを通すようにして下さい。



- 16 配線を交わして引き出した生地にゴムが付いています。ゴムに付属の金属フックを取り付けます。金属フックをシート裏の金属フレームに引っ掛けて固定します。



- 14 入れ込んだベルトをシートの裏から引き出します。引き出したベルトを8番で引き出した生地についているバックルに通して固定します。



- 17 シートの背面は図のようになります。



- 15 ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締まり固定されます。強く引き過ぎるとベルトが切れる恐れがありますのでご注意下さい。



- 18 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席も同様に取り付けます。

Step 2

1 列目運転席背もたれの装着方法



- 1 カバー側面のファスナーを開いた状態で、シートのラインに合わせてかぶせます。



- 4 生地伸びを利用して、台座を図のように取り出します。



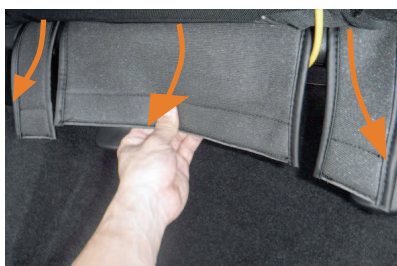
- 2 5ページ1番で外した生地をめくり上げてカバーの内側に入れ込みます。



- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 3 ヘッドレストの台座を取り出します。台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- 6 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。シートの背面にはサイドエアバッグやシートヒーターの配線が通っています。カバーの生地が分かれている部分で配線を交わして、生地を引き出します。両端の生地は中心から外側に向けて生地を引き出すようにすると、カバー表面の生地がシートに馴染みやすくなります。



- 7 ①→②→③の手順で側面の生地をシートに馴染ませていきます。シート中央の下に余った生地は、再度6番で引き出したようにシートの背面から引き出します。**この作業はカバーをきれいに装着させる上で重要な作業になります。**



- 10 6番で引き出した生地とシート背面の生地をマジックテープで固定します。



- 8 カバー側面のファスナーを生地を内へ寄せながら、慎重に閉じます。



- 11 カバー背面下に付いているゴムに、付属の金属フックを取り付けます。金属フックはシート裏の金属フレームに引っ掛けて固定します。



- 9 ファスナーの端は折り返してカバーの中へ入れ込みます。



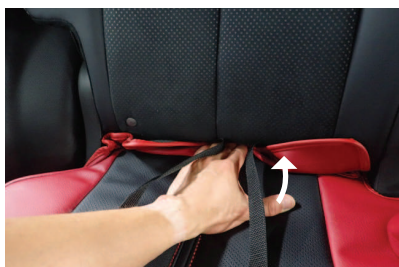
- 12 カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。

Step 3

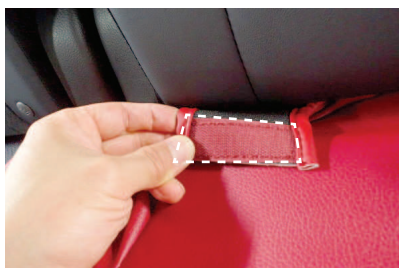
2列目座面の装着方法



- 1 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。シートベルトのバックルの位置とカバーの加工穴の位置を合わせるようにして下さい。



- 2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。生地の手端に付いているベルトも一緒に入れ込みます。



- 3 アームレスト下の運転席側です。こちらの生地の手端にはマジックテープが付いています。



- 4 マジックテープが付いた生地を背もたれと座面の隙間に入れ込みます。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。

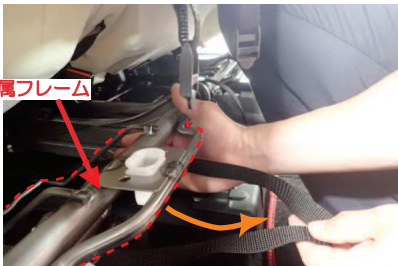


- 5 シートを車体から外します。シートは図の矢印位置のシート裏にフックで固定されています。フックの付近に手を添えて、真上に持ち上げるとフックが外れます。



- 6 シート裏のフックが外れると、図のようにシートの前側が持ち上がります。この状態でカバーを固定していきます。
※シートは手前に引き出したりせず、作業を行って下さい。シートの位置をずらすとシートを固定する際、フックの位置を合わせるのが難しくなります。
また後席シートヒーター装備車は、シートの付け根に配線が繋がっているため、配線にも注意して下さい。

金属フレーム



- 7 2番で入れ込んだベルトをシートの裏から引き出します。
この際、シート裏の金属フレームの下側を通してベルトを引き出して下さい。
※フレームの上側からベルトを引き出すとシートが元通りに固定できなくなります。



- 8 引き出したベルトをカバーの前側に付いているバックルを通して固定します。
※ベルトの固定方法は7ページ15番を参考して下さい。
※ベルトの固定はこの時点では緩めに固定して下さい。



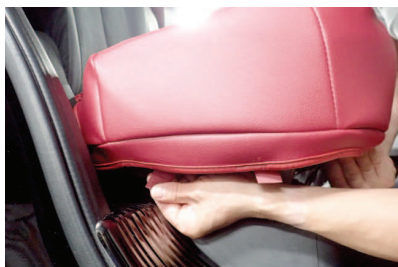
- 9 シートの側面です。
カバーの端にマジックテープのベルトが2本付いています。
マジックテープのベルトを図の金属部分に巻き付けて固定します。
※マジックテープの固定はこの時点では緩めに固定して下さい。



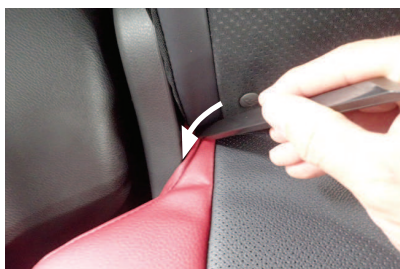
- 10 シートを車体に固定します。
フックの位置を合わせて、図のようにフック位置の上辺りに手を添えて、真下へ押し込み固定します。



- 11 シートの前側から、8番で緩めに固定していたベルトをしっかりと固定しなおします。



- 12 シートの側面です。
9番で緩めに固定していたマジックテープのベルトをしっかりと固定します。



- 13 シートの付け根部分です。
ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 16 助手席側も同様に生地を入れ込みます。



- 14 運転席側と中央席の シートベルトのバックル部分です。
バックルが出ているシートのフチに生地を入れ込みます。
途中でシートベルトを差し込み作業をすると、生地が入れ込みやすくなります。



- 17 中央席用の図のバックル部分は、生地を入れ込む仕様ではありません。図のようにバックルの位置とカバーの加工穴の位置を合わせます。



- 15 バックル部分は図のようになります。



- 18 カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。

Step 4

2列目背もたれ・アームレストの装着方法

助手席側のシートで装着方法を説明します。



- 1 始めにラゲッジ部分とシートの背面をマジックテープで固定している生地を、図のようにめくり上げて外しておきます。



- 2 カバーをシートにかぶせます。まずシートの先端にあるシートベルトのガイド部分を、カバーの加工穴に通します。



- 3 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



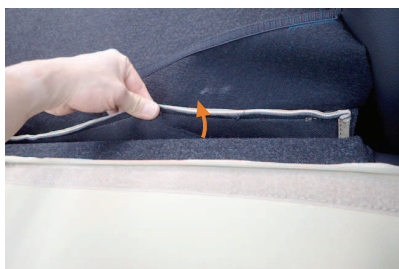
- 4 ヘッドレストの台座を全て取り出します。※革を使用しているカバーでは加工穴から生地が裂けてくる場合があります。慎重に作業を行っていただければ台座の大きさに穴は広がらないので、作業は慎重に行ってください。



- 5 2番で加工穴に通したシートベルトガイドの付け根に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 6 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。※この際シート表面の生地をしっかりとシートに馴染ませて、生地を入れ込むようにして下さい。表面の生地が浮いた状態ではこの後8番のファスナーを固定する際、生地が届かなくなります。



- 7 シートを前に倒して入れ込んだ生地を引き出します。
※PHEV車はラゲッジが高いため、生地を引き出す隙間が狭くなっています。



- 10 ファスナーの端は折り返してカバーの内側へ入れ込みます。



- 8 引き出した生地とカバーの背面下の生地を寄せ合いながらファスナーで固定します。
※生地が届かない場合は6番に戻り、表面の生地をしっかりと馴染ませた上で、再度生地を引き出して作業を行ってください。



- 11 アームレスト収納部の奥にあるプラスチックパーツの隙間に、端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。プラスチックパーツの中央部分は手前に引くと、隙間を広げることが出来ます。



- 9 シートの内側で、生地を寄せ合いながらファスナーで固定します。



- 12 アームレスト収納部の角部分にも生地を入れ込みます。角をきれいに入れ込むことでアームレスト収納部の生地がたるむことなく収まります。



- 13 アームレストの付け根部分のカバーには、図のような部材が付いています。



- 14 13番の部材の付いた生地をアームレスト下の隙間から入れ込みます。奥に入れ込むと11番のプラスチックパーツの下側に当たります。プラスチックパーツの下に部材を潜り込ませるように入れ込みます。部材が入り込みづらい場合は、11番の状態のようにプラスチックパーツを手前に引き、下部分を少し浮かせて作業をすると部材が入り込みやすくなります。



- 15 アームレストの収納部は図のように収まります。



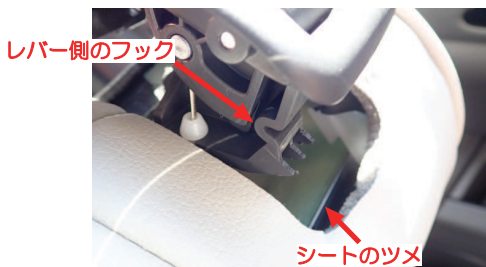
- 16 シート肩口のリクライニングレバーのフチに生地を入れ込みます。こちらは隙間が大変狭くなっているのでレバーの固定を外して生地を入れ込みます。レバー部分の背面にある目隠し用のキャップを、ヘラなどを使用して外します。



- 17 キャップを外すと内側にネジが2本あります。ネジを2本共、ドライバーを使用して外します。



- 18 ネジを外すと図のようにレバー部分の固定が外れます。



- 19 レバー部分を生地を挟み込み元通りに固定します。
レバー部分の矢印位置にフックがあり、シート側の矢印位置にツメがあります。この部分が引っ掛かるようにしてレバーを戻します。



- 20 レバー部分の前側を引っ掛けたら、図の位置をしっかりと抑えてネジを固定します。この際、背面側の生地にシワが出来た場合ヘラなどを使用して調整して下さい。



- 21 16番で外したキャップの戻し忘れには注意して下さい。
レバー周りは図のようになります。レバー部分の前側にシートと隙間ができていない場合は、19番のフックが引っ掛かっていない状態になります。レバーの固定をやり直して下さい。



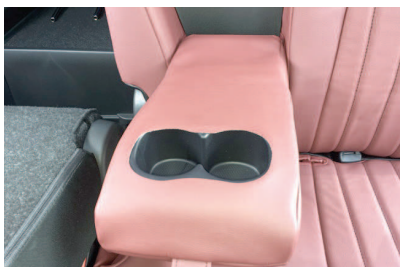
- 22 アームレストにカバーを取り付けます。アームレストは軸部分にかけて細くなっているので最初に入れ込んでいくのが非常にきつくなっています。取り付けは慎重に行ってください。
カバーを図のように半分ほど裏返します。



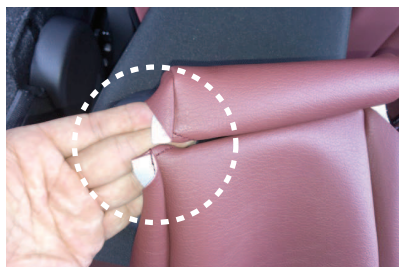
- 23 カバーをアームレストのラインに合わせてかぶせます。ドリンクホルダーの加工穴の位置でカバーの前後を確かめて下さい。
※アームレストの先端にカバーが張るまで入れ込まずに、少しゆとりがある状態に止めておくことがポイントです。



- 24 23番の状態からカバーを左右少しずつ入れ込んでいきます。



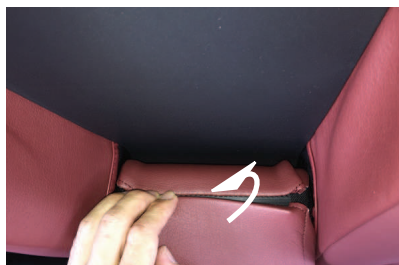
- 25 ある一定の位置を越えるとすなりとカバーがアームレスト全体にかぶります。この状態で再度アームレストのラインを整えてアームレストの先端にも生地が張るようにかぶせます。



- 28 アームレストカバーを固定する前に図の状態を確認して下さい。図で白く見えているところがカバーの縫い代になります。カバーを固定した後、この縫い代が見えないように気を付けて下さい。
※縫い代の色はカバーにより異なります。



- 26 アームレストの下から端に部材の付いた生地を入れ込みます。図のように手を添えた状態でアームレストを倒す→起こすと繰り返していくと生地が入り込んでいきます。



- 29 アームレストカバーを固定します。カバーはブラフックで固定します。



- 27 アームレストを倒して入れ込んだ生地を引き出します。



- 30 ブラフックの固定方法は、カギ状のブラフックに板状のブラフックを、生地ごと巻き込むようにはめ込み固定します。



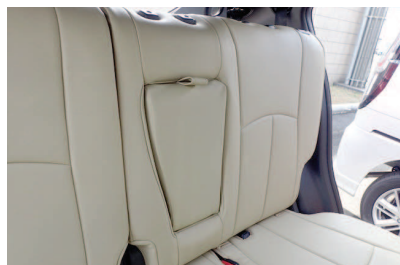
- 31 ブラックを固定すると図のようになります。
28番の縫い代が表から見える場合はカバーの中へ入れ込んで下さい。



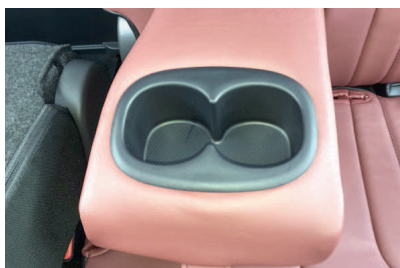
- 34 1番で外したラグジュ側の生地を、カバーの背面下に付いているマジックテープに貼り付けて固定します。



- 32 ドリンクホルダーのフチにヘラなどを使用して生地を入れ込みます。こちらの隙間は大変狭くなっているので、作業は慎重に行ってください。



- 35 カバーのラインを整えて、2列目助手席側背もたれ・アームレストの完成です。



- 33 生地を全て入れ込むと図のようになります。アームレストの表面に生地たるみを残さないようにしっかりと入れ込んで下さい。



- 36 運転席側の背もたれも一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step 5

ヘッドレストの装着方法



- 1 1列目ヘッドレストです。カバーは平らなプラスチックパーツが付いている方が前になります。カバーを図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。



- 4 ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレスト裏でブラックを固定します。



- 2 ヘッドレストの中央辺りに差し掛かるとカバーが大変きつくなってきます。ヘッドレストの角を指で押しながら、左右均等にかぶせていきます。



- 5 ブラックの固定方法は、カギ状のブラックに板状のブラックを、生地ごと巻き込むようにはめ込み固定します。



- 3 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 6 1列目ヘッドレストの裏側は図のようになります。



7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



10 1列目と同様にブラックを固定します。



8 2列目両サイドのヘッドレストです。カバーは平らなプラスチックパーツが付いている方が前になります。ヘッドレストの先端から後ろ側へカバーをかぶせます。



11 図は2列目中央のヘッドレスト裏です。2列目中央のヘッドレストも形状は異なりますが両サイドのヘッドレスト同様にカバーを取り付けます。



9 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、シートからヘッドレストを外します。ヘッドレスト裏の両端の生地を内へ寄せてマジックテープを固定します。



12 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

Step 6

コンソールの装着方法



- 1 コンソールのフタを外します。コンソールのフタを開けると、付け根の部分にネジが2本あります。そのネジをドライバーを使用して外します。



- 2 ネジを外すとコンソールのフタ部分が図のように外れます。



- 3 フタを裏にばらしていきます。フタの裏側にある図のネジを2本外します。



- 4 ネジを外すとフタの先端に付いている、図のパーツが外れます。



- 5 フタの裏側のプラスチックパーツを外します。図のように3番で外したネジの真横辺りにヘラなどを差し込み慎重に反していくと、中のツメが外れてプラスチックパーツが外れます。



- 6 フタとプラスチックパーツが外れた図です。



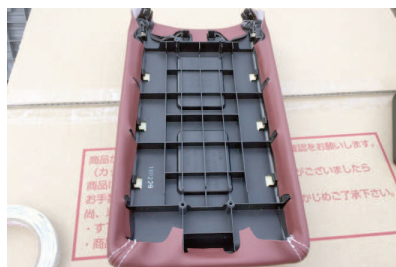
- 7 『10AR中央』とタグの付いたカバーに両面テープを貼り付けます。両面テープの貼り付け位置は、図の矢印位置の生地端に貼り付けます。こちらは推奨する位置となるので、両面テープを多めに使用しても問題はありません。



- 8 フタ部分にラインを合わせてカバーをかぶせます。カバーの前後は側面の形状を見比べると分かり易くなっています。



- 9 フタの裏側までカバーをかぶせて、両面テープで固定していきます。



- 10 7番で準備した両面テープを全て貼り付けて固定すると図のようになります。ツメの位置、ネジ穴はかわしながら固定します。



- 11 プラスチックパーツを元に戻します。生地を挟み込みフタ部分と合わせます。始めに先端側のネジ穴がきちりと出てるように合わせます。



- 12 4番のパーツを取り付けネジを締めます。ネジは最初から強く締めてしまわずに、少し緩めに締めた状態にしておきます。



- 13 コンソールカバーの角の部分は、生地が中で密集する為、裏のプラスチックパーツを戻した後も生地をしっかりと馴染ませていく必要があります。ヘラなどを使用して角部分の生地をしっかりと入れ込みます。生地が馴染んで来たら12番のネジをしっかりと固定し直します。



- 14 生地をしっかりと入れ込むと、コンソールの先端は図のようになります。



- 15 コンソールの付け根部分も生地を挟み込みネジ穴がしっかりと出てくるように合わせます。
※コンソールのフタとプラスチックパーツはツメで固定されていますが、カバーを装着すると生地の厚みでツメがしっかり掛からない場合があります。ツメが掛からなくてもネジをしっかりと固定すればコンソールのフタもずれることなく固定されるので、使用時に影響はありません。



- 16 コンソールを車体側に戻します。



- 17 カバーのラインを整えて、コンソールの完成です。

完成図



1列目



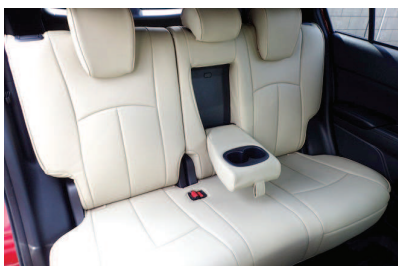
1列目背面



2列目



2列目背面



2列目アームレスト使用時



2列目可倒時



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816